

需要獲得

ものづくり

ヤマハチケミカル株式会社

愛知県蒲郡市

「連続多孔質体」のコア技術で収益向上を目指す 経営者の強力なリーダーシップで多角化を実現

同社は主に自動車関連・弱電関連のプラスチック成形加工を受注する企業として1969年に創業した。1977年に「連続多孔質体」の特殊製法の開発に成功、技術の多角化を進め、今では多孔質ペン先・浸透印・OEM製品など多様な製品を生産して、収益力の高いメーカーへの転身を成し遂げた。また長年の研究開発で培ったコア技術の差別優位性により、国内のみならずアメリカ・ヨーロッパ・中国で特許を取得した。主力製品の筆記用具以外の分野でも用途開発を進め、新たなヒット商品の開発を目指している。

所在地	愛知県蒲郡市西浦町大知柄54番地の4	設立	1969年
電話/FAX	0533-57-1651/0533-57-9310	資本金	1,000万円
URL	https://yamahachi-chemical.co.jp/	従業員数	32人
代表者	代表取締役 遠山 泰広		



「連続多孔質体」の製造ノウハウをコア技術とし差別優位性を確保

1977年にプラスチックを原材料とした「連続多孔質体」の特殊製法開発に成功し、多孔質ペン先・浸透印・インクなどの独自の製品を生み出した。国内およびアメリカ・ヨーロッパ・中国で特許を保有し、知的財産戦略にも万全な体制を築いている。また同社の「連続多孔質体」は、顧客の用途・要求性能に合わせた材料グレードの変更・薬品耐性の変更・形状の変更・気孔径サイズの変更などが可能で、用途開発しやすいフレキシビリティに優れ、ニッチ分野ではあるが卓越した革新性と差別優位性を有している。



「連続多孔質体」の特殊製法で製造した商品

経営者の強力なリーダーシップが新製品の研究開発・多角化・知的財産戦略を推進

同社の連続多孔質体事業は、代表取締役である遠山泰広氏自らが強力なリーダーシップを発揮し、材料の適正な選定から新製品開発、技術の多角化、品質向上に至るまで先導して行い事業を大きく発展させた。また独自開発により異なるサイズの多孔質体の二重構造を実現させるなど、ニッチ分野であるが連続多孔質体・多孔質チップ・浸透印メーカーとしての地位を確立し、経営者としての卓越した手腕を発揮している。さらに、国内外の展示会に積極的に出展し、経営者自らが率先して多方面での需要の獲得に奔走している。



展示会の風景

飽くなき研究開発で取引先の性能要求課題を解決し異分野へ進出

同社は取引先ごとの商品に適合した性能要求課題を着実に解決し、異分野進出を果たしてきた。一例として、アメリカのスポーツ医療分野の取引先の通電部品では、特殊形状（連続突起）・電気通電性・瞬間吸水性・反発弾性・安全性・耐久性などの性能要求があったが、飽くなき研究開発により最適な加工方法や特殊な処理方法、新たな原材料、品質管理方法などを探求し確実に実現してきた。現在も新たに医療分野での用途開発や、ヨーロッパ向けの化粧品用の多孔質チップ開発など異分野の取引を拡大させている。



研究開発の様子

需要獲得

ものづくり